

学科名	電気通信工学科						
科目名	シミュレーション						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	五反田 博 Hiromu GOTANDA、白土 浩 Hiroshi SIRATSUCHI						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションの必要性や効果、限界を説明できる。 ・シミュレーションツールを使って、基本数学関数の描画や微分・積分等の数値計算ができる。 ・シミュレーションツールを使って、数値計算結果を分かりやすく視覚化できる。 ・位相と時間遅れの関係や振幅と実効値の違いを説明できる。 						
日程と内容	09月18日	概要説明・三角関数概論					
	09月25日	三角関数の基礎					
	10月02日	三角関数の合成					
	10月09日	極座標変換					
	10月16日	総合演習(1)					
	10月23日	オイラーの公式					
	10月30日	総合演習(2)・臨時試験					
	11月06日	Excelによるグラフ描画					
	11月13日	剰余を用いた乱数生成					
	11月20日	三角波の描画					
	11月27日	微分					
	12月04日	積分					
	12月11日	総合演習(3)・臨時試験					
	12月18日	定期試験					
	01月08日	総合演習(4)					
	01月22日	復習演習					
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題演習	10%	計			100%	
授業到達目標の達成度	概ね目標は達成できたと考える。						
反省点	例年1年次向けのコンピュータ科目については授業教科アンケートの総合評価が低い傾向がみられる。原因としては、出来る学生にとっては進捗が遅く感じ、理解が進まない学生にとっては講義が全く理解できないという点、試験を含む殆どでコンピュータ演習が必須となっている点が考えられる。これらの点の改善に向けて講義方法の検討を続けていきたいと考える。						
来年度の計画	来年度から初等信号理論と分離した講義が始まるため、演習時間を取ることが難しくなることが予想される。このため、講義と演習のバランスを考える必要がある。						
授業評価アンケートに対するコメント	自由記述欄に記載のあった内容については個別回答し、学科掲示板に掲示している						
履修登録者数	63名	定期試験受験者数	62名	合格者数	52名	合格率	84%